１１８回第３問から精算表→財務諸表→帳簿締切→株主資本等変動計算書を学ぶ

18.12.31　19.1.1　2.28　3.25　19.12.31　2.28

前期決算　申告　総会　当期決算　申告

本質は流れで理解する
応用問題にも対応できる

剰余金の配当　前T/B　決算修正　P/L・B/S

締切

財務諸表作成の問題の解き方

貸借対照表問題

貸借対照表とは一定時点（通常は決算日）の財産状態を表す
＜例＞売買目的有価証券は決算日は時価で評価
　　商品は実地棚卸の金額

損益計算書問題

損益計算書とは一定期間（通常は会計期間）の経営成績を表す
＜例＞有価証券評価損益は時価と簿価の差額
　　売上原価は帳簿価格の算定から評価損と棚卸減耗費を分離

決算３勘定とは

収益・費用を翌年０からスタートさせる為の処理をする（損益勘定の振替）
利益といえども簿記では仕訳が必要（損益→繰越利益剰余金へ）
B/S 勘定は帳簿を締切り、次期繰越額を繰越試算表に転記しチェックする
繰越利益剰余金のＴフォームを作成する

株主資本等変動計算書とは

	株主資本						
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			
					その他利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	利益準備金	別途積立金	繰越利益剰余金	株主資本合計
前期末残高	4,800,000	220,000		240,000	160,000	200,000	5,620,000
当期変動額							0
新株の発行	200,000	200,000					400,000
剰余金の配当				10,000		△110,000	△100,000
別途積立金					20,000	△20,000	0
当期純利益						429,000	429,000
当期変動額計	200,000	200,000		10,000	20,000	299,000	729,000
当期末残高	5,000,000	420,000		250,000	180,000	499,000	6,349,000